［平成29年度補正予算の概要］

飼料生産基盤利活用促進緊急対策事業

【５００百万円】

対策のポイント

自給飼料増産に向けて、①難防除雑草の駆除及び駆除対策の活用・普及等の取組、②高品質な完全混合飼料（ＴＭＲ）の安定供給を図るための取組、③公共牧場の活用拡大と機能強化の取組を支援します。

＜背景／課題＞

・「総合的なＴＰＰ等関連政策大綱」に即し、将来にわたり意欲をもって畜産経営を継続していけるよう、**自給飼料の一層の生産拡大と高品質化を図り、畜産・酪農の競争力強化を強力に進めることが喫緊の課題**です。

・こうした中、**肉用牛・酪農経営の生産基盤の強化を図る**ため、

① 従来の方法では防除の難しい**難防除雑草の駆除**及び**駆除対策の活用・普及**、

② **高品質な完全混合飼料（ＴＭＲ）の安定供給**、

③ 有用な飼料生産基盤であるものの十分に活用できていない**公共牧場の活用拡大と機能強化**

を進める必要があります。

政策目標

〇飼料作物の生産量
（350万TDNﾄﾝ（平成25年度） → 501万TDNﾄﾝ（平成37年度））
〇飼料自給率の向上（26%（平成25年度） → 40%（平成37年度））
〇飼料作付面積の拡大（89万ha（平成25年度）→ 108万ha（平成37年度））

＜主な内容＞

自給飼料の一層の生産拡大と高品質化、飼料生産基盤の更なる利活用の取組を緊急的に進め、国産飼料に立脚した畜産への転換を推進します。

１．草地難防除雑草駆除対策

難防除雑草駆除計画を策定し、**計画に基づき行う難防除雑草の駆除**（除草剤散布、耕起、砕土、整地、施肥、土壌改良資材の投入、優良品種の導入等による施工）や**駆除対策の活用・普及等の取組**を支援します。

（補助率：定額、１／２以内
事業実施主体：民間団体）

２．高品質ＴＭＲ供給支援対策

完全混合飼料（ＴＭＲ）の品質改善計画を策定したＴＭＲセンターが、**当該計画に基づき行うバンカーサイロの補改修の取組等**を支援します。

（補助率：定額、１／２以内
事業実施主体：民間団体）

３．公共牧場活用生産基盤強化支援対策

（１）地域における肉用牛・酪農の生産基盤の強化に資するため、**生産基盤強化計画を策定し、計画に基づき行う夏期預託から周年預託への転換、公共牧場自ら行う肉用子牛の生産や乳用後継牛の供給の取組**等を支援します。

（２）**コントラクターや生産組合が利用率の低下した公共牧場等を有効活用**するために行う**機械導入や施設改修等の取組**を支援します。

（補助率：定額、１／２以内
事業実施主体：地方公共団体、農業者集団等）

［お問い合わせ先：生産局飼料課　（０３－６７４４－２３９９）］

飼料生産基盤利活用促進緊急対策事業

【平成29年度補正予算額：500百万円】

◆ 草地難防除雑草駆除対策

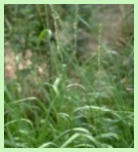
1 計画の策定等
難防除雑草駆除計画の策定や調査分析を支援します。

2 草地改良
計画に基づき行う高位生産性草地への転換（除草剤散布、耕起、砕土、整地、施肥、土壌改良資材の投入、優良品種の導入等による施工）の取組を支援します。

3 対策の活用・普及等に必要なデータ収集、研修会等の開催を支援します。

＜難防除雑草＞

ギシギシ


シバムギ

計画に基づき除草剤の散布等を実施

難防除雑草の繁茂しない生産性の高い草地

◆ 高品質TMR供給支援対策

「品質改善計画」を策定し、計画に基づくバンカーサイロの補改修の取組等を支援します。

バンカーサイロ

長年の利用によりコンクリートが劣化
→サイレージの品質低下

補改修

密封性の向上・異物混入が無くなる等による高品質サイレージ

品質の高いTMRの安定供給の実現

◆ 公共牧場活用生産基盤強化支援対策

地域の「生産基盤強化計画」を策定し、計画に基づく以下の取組を実施する際に 必要な施設、機械、家畜の導入等を支援します。

①夏期預託から周年預託への転換
②地域を越えた広域的な預託
③預託月齢の早期化による 預託期間の延長
④公共牧場自ら行う肉用子牛生産や乳用後継牛の供給　等

草地改良

収穫機械導入

カーフハッチ導入

牧柵整備